土木学会複合構造委員会　第 8 回幹事会議事録（案）

1. 日　時：平成 18 年 6 月 1 日（木）13:00～14:45

2. 場　所：土木学会 B 会議室

3. 出席者：

上田委員長，中島副委員長，大垣幹事長，池田，伊藤，大山，武知，中村，西崎，古市，溝江，山口，横田，渡辺

（敬称略，計 14 名）

4. 配布資料

資料　幹 8-0　第 8 回複合構造委員会幹事会議事次第
資料　幹 8-1　第 7 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
資料　幹 8-2　幹事会業務分担（案）
資料　幹 8-3　複合構造委員会「複合材料による補修・補強小委員会」設立趣意書
資料　幹 8-4-1 複合構造物の性能照査指針（案）に基づく照査例の講習会（大阪会場）
資料　幹 8-4-2 複合構造物の性能照査指針（案）に基づく照査例の講習会（札幌会場）
資料　幹 8-5　JSCE-KSCE Joint Seminar on Hybrid Structure
資料　幹 8-6　複合構造シンポジウムについて
資料　幹 8-7　全国大会複合構造セッションプログラム
資料　幹 8-8　研究討論会（インフラ構造物の維持補修における複合新技術の利用）
資料　幹 8-9　平成 18 年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果について
資料　幹 8-10　複合構造委員会予算案
資料　幹 8-11　「革新的構造材料の土木分野への活用」に関する講習会
資料　幹 8-12　革新的材料を用いた社会基盤施設の再構築

5. 議事次第

（1）　第 7 回幹事会議事録（案）の確認（資料 幹 8-1）

（2）　山口幹事より，第 7 回幹事会議事録の確認がなされた．(2)で「時期」を「次期」に修正，(3)複合構造物の性能照査指針小委員会の活動報告において「3 つの WG を立ち上げ活動中」は「3 つの WG を準備中」に修正，「仕方書」を「示方書」に修正，(7)大阪での講習会の日時「6 月 6 日」を「6 月 16 日」に修正することとした．

（3）　幹事会業務分担について（資料 幹 8-2）

・ 西崎幹事が今回から幹事に就任したことの挨拶があった．
・ 大垣幹事長より業務分担における変更点について以下の説明があった．

第 3 回委員会の議事録を杉浦幹事に代わって中村幹事が担当する．
「複合構造シンポジウム」は，小委員会として組織する．
「委員会特別講演」を新しく分担として加え，全体委員会でのホットな特別講演を企画する．
「年次講演会」を新しく分担として加え，複合構造共通セッションのプログラム編成，研究討論会の企画，研究討論会の会場係を担当する．
「日韓ジョイントセミナー」は国際活動関連の常置的な小委員会として組織し，小委員会

のネーミングおよび構成については主査（横田）が検討する．
小委員会連絡幹事を資料のとおりに指名する．

(4)　「複合材料による補修・補強小委員会」設立趣意書（資料 幹 8-3）

- 大垣幹事長より，資料に基づき，新小委員会の設立について説明がなされた．
- 新材料による複合技術小委員会，FRP 複合橋梁小委員会，維持管理小委員会との関連について，競合しないように活動範囲を考えているとの説明があった．
- 対象については，主として FRP を対象とするが，他の工法を否定するわけでないとの説明があった．
- 小委員会の名称が活動内容と合致していないという意見があり，最初はもっと限定的な名称であったのを修正してもらった経緯が説明された．名称の再考をお願いすることとなった．
- マニュアルや指針類を公募の委員会で作成することの是非について議論が必要である．複合構造シリーズとして出すようなものについての審査が必要である．限定された工法についてのマニュアルは好ましくないとの意見が出された．
- 活動内容については問題がないものと考えられるが，趣意書の文章では他の小委員会との棲み分けや活動目的等が分かりにくいので，小委員会名称も含めて修正をお願いし，それに基づいてメール審議とすることとした．
- 山口幹事に連絡幹事をお願いすることとした．

(5)　複合構造物の性能照査指針（案）に基づく照査例講習会（資料 幹 8-4-1，幹 8-4-2）

- 渡辺幹事より講習会 2 件の説明がなされた．
- 大阪会場は，小林氏の代わりに溝江氏が講師を務めることとなった．
- 札幌会場の講師が資料のとおり決定した．
- 聴講申し込み数が少ないので，声かけの要請があった．
- 講演内容の PPT について，東京会場での課題を反映したものにして欲しいとの要請があった（渡辺幹事より講師に送付済み）．

(6)　日韓ジョイントセミナー（資料 幹 8-5）

- セミナーの準備状況について横田幹事より説明がなされた．
- 講演の話題について適当なものがあれば横田幹事まで連絡してもらうことが要請された．
- 10 月 13 日の幹事会は韓国で実施することも考慮する．

(7)　平成 18 年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果（資料 幹 8-9）

- 重点研究については，日韓ジョイントセミナーと相乗りで計画することとなった．

(8)　複合構造シンポジウム（資料 幹 8-6）

- シンポジウムの計画概要について中島副委員長より説明がなされた．
- 建築学会との共催については早めに議論しておいた方がよい．
- 開催時期は 2007 年 11 月とする．

(9)　全国大会共通セッションのプログラム（資料 幹 8-7）

- 池田幹事より，共通セッションのプログラムについて説明がなされた．
- 座長は，2 年続けることは原則避けるようにとの方針にしたがった．
- 本資料は，公開前であるので取扱注意とする．

(10)　全国大会研究討論会（資料 幹 8-8）

- 大垣幹事長より，研究討論会の企画について説明がなされた．
- 幹事会メンバーは，できるだけ出席して欲しいとの要請がなされた．

(11)　複合構造委員会予算案（資料 幹 8-10）

- 大垣幹事長より，予算案の説明がなされた．

(12)　「革新的構造材料の土木分野への活用」に関する講習会（資料 幹 8-11）

- 上田委員長より講習会の経緯の説明がなされた．既に活動の終了した受託の委員会の活動成

果報告であり，複合構造委員会と密接な関係があるので，複合構造委員会で主催することとなった.

- 聴講の声かけの要請がなされた.

（13） 革新的材料を用いた社会基盤施設の再構築（資料 幹 8-12）

- 西崎幹事より，本研究開発課題の申請（国土交通省の建設技術研究開発助成制度）についての説明おおよび申請が認められた（平成 18 年度 1,700 万円）旨の報告がなされた.
- FRP 複合橋梁小委員会で研究を実施する予定である.

（14） 第 9 回幹事会開催日時について

- 日時：平成 18 年 7 月 6 日（木）14:00～（当初予定を 1 時間早める）
- 場所：北海道大学

以上（記録・文責　横田　弘）